



大学における輸出管理

同志社大学工学部の現状を踏まえた提案

同志社大学 ビジネス研究科 佐伯崇



概要

- 大学における輸出管理の現状について、現場の教員と研究者への認識度の調査を踏まえて、発表を行う
- 輸出管理は多くの大学でまだ始まったばかりであるが、大学でスムーズに輸出管理を導入する手法を探るため、同志社大学工学部および生命医科学部の教員、研究者にアンケート調査を行った
- 今回の発表では、大学で輸出管理を行う際にその出発点となる手法の提言を行い、具体的な手法として、ITシステムによる管理の可能性を検討する



研究の背景

- 輸出管理に対する興味がスタート

日本の多くの企業では、輸出管理は常識

しかし、セキュリティーは弱い部分が狙われる為、
それ以外の組織はどうなのか？

→ 工学部出身として輸出管理の必要性を認識

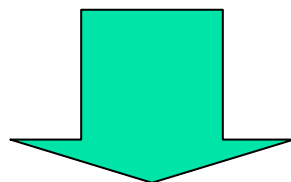
- 大学での輸出管理の強化が求められる状況



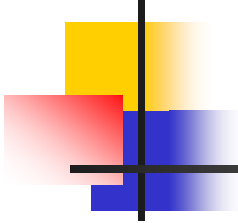
当大学で輸出管理を実施するなら？

- 実際の組織へ輸出管理を導入する場合、現場の認識状況に応じた適切な手法がある

そのため、同志社大学工学部、生命医科学部の研究者へ配布→郵送回収でアンケート調査を実施



その結果から最適な手法を検討・提案する



過去に実施された大学への調査

- 吉田 匠 氏

東北大学 産学官連携推進本部

平成20年3月 「外為法等への対応方法」

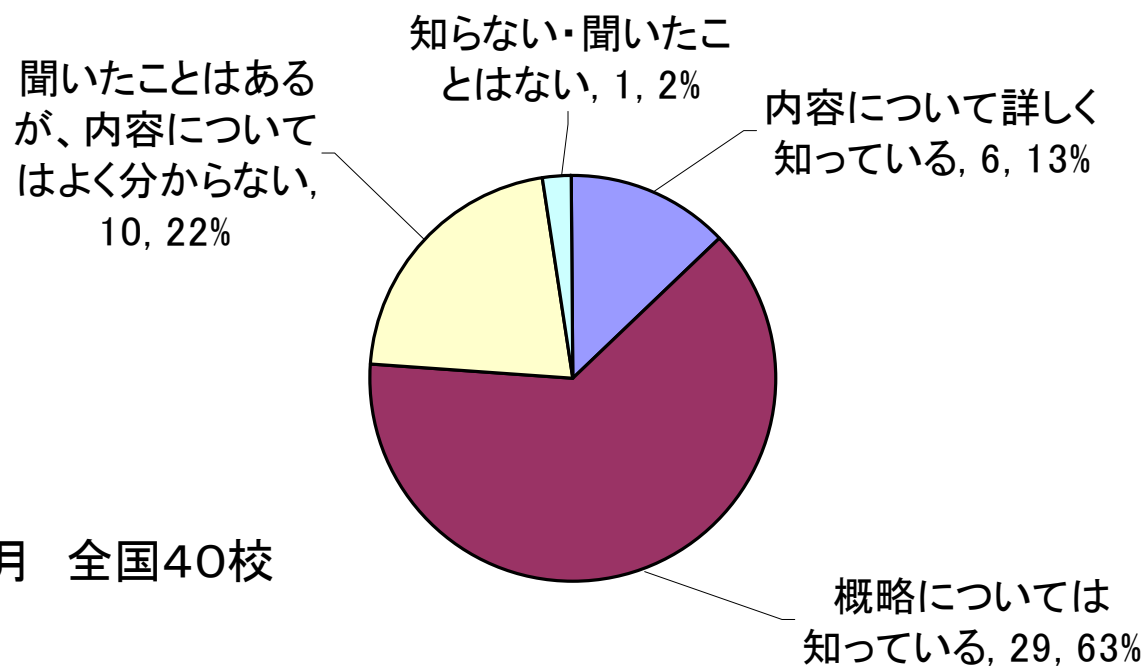
- CISTEC Journal 2009. 1 No.118

「大学における安全保障輸出管理についてのアンケート調査」

それぞれ大学の輸出管理についての調査報告がある

大学単位での調査結果

外為法に基づく輸出管理とは何かを知っていましたか？



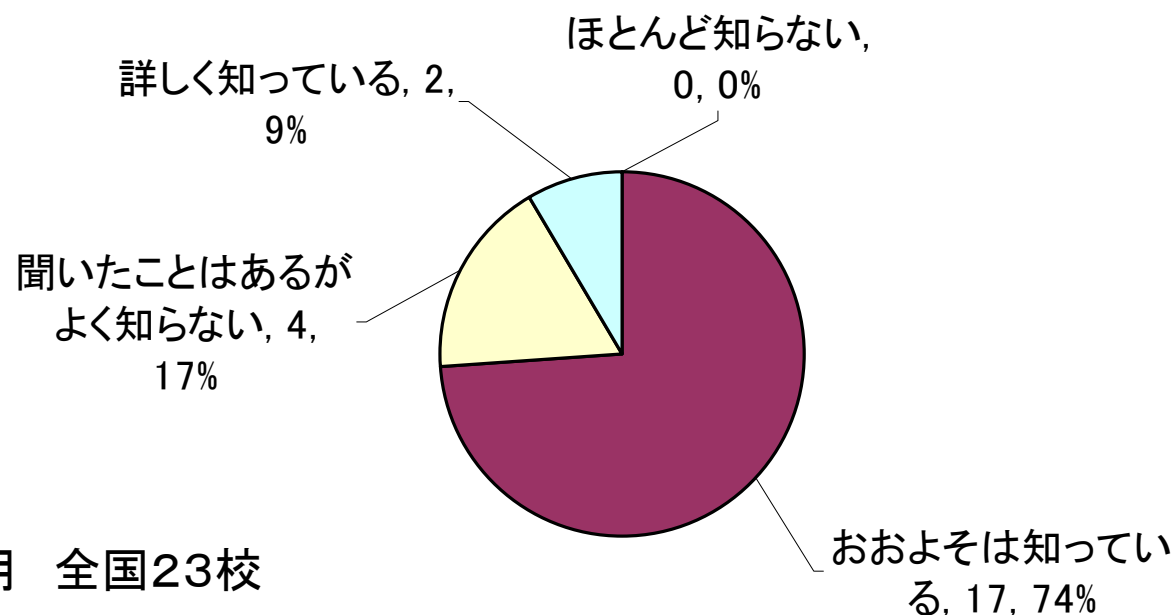
調査実施

平成19年8月 全国40校

「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成

大学単位での調査結果

外為法に基づく安全保障輸出管理の概要をご存じですか？

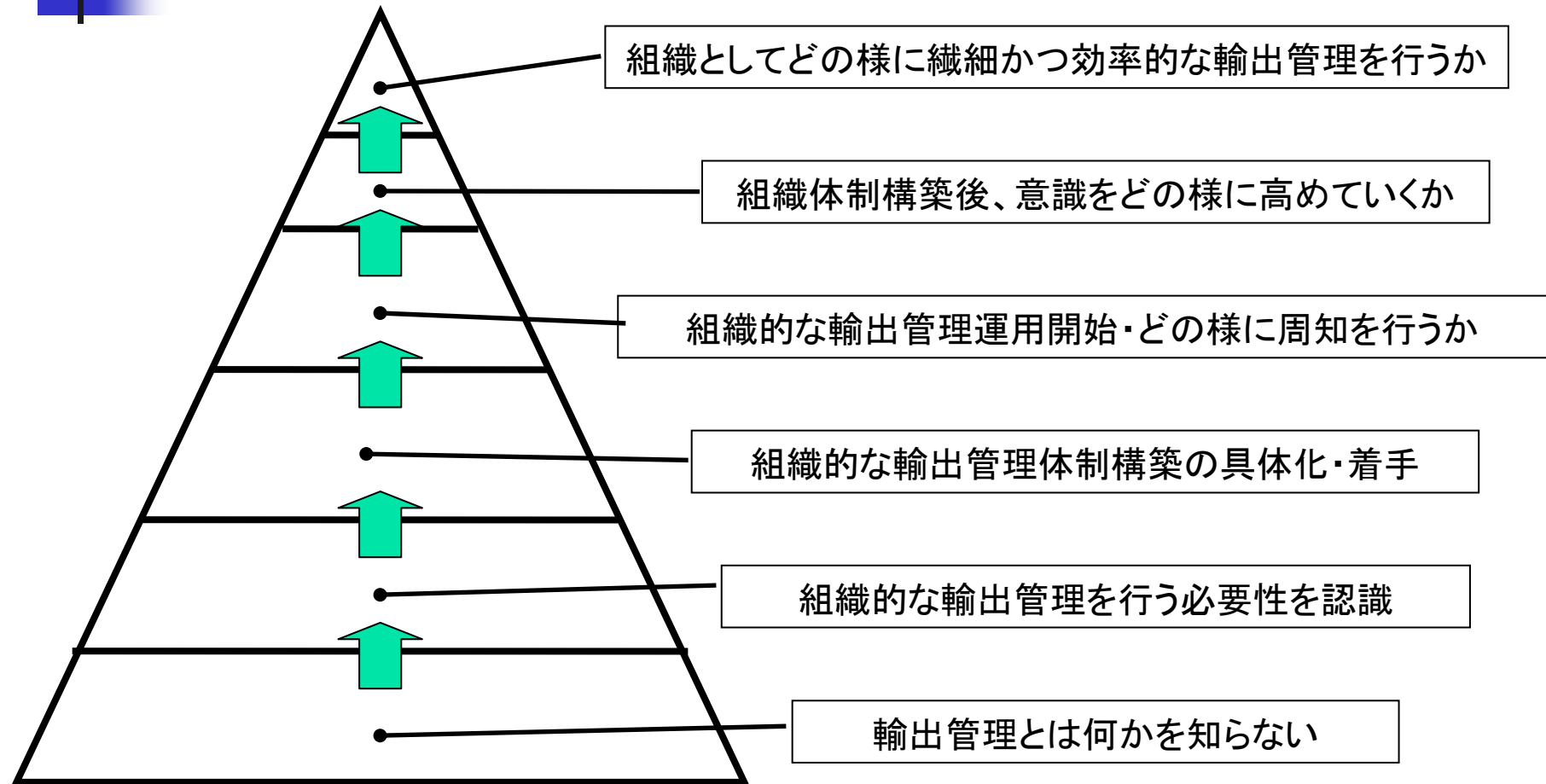


調査実施

平成20年11月 全国23校

「CISTEC Journal No.118 大学におけるアンケート調査」
平成21年1月 より作成

認識階層と手法について

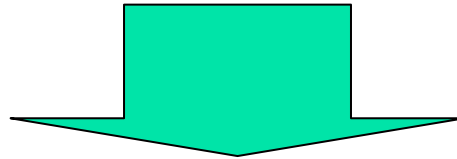


「外為法等への対応方法」平成20年3月 より作成



当大学での調査結果

- 輸出管理についての通達があったと回答
- 面倒が増えるのではという考えは強い
- 自分の研究について該非が不明な場合が多い



- 「輸出管理とは何か」 or
「組織的な輸出管理を行う必要性を認識」
からスタートする必要がある



提案

- まずは認識。 輸出管理について知ってもらう
 - 研究者のプラスになることを強調
 - 輸出管理は倫理感、道徳の問題
 - 必要以上に萎縮する必要はない
- 研究者に面倒を増やさないための
管理業務支援システムの提案
 - Webによる情報提供、データベース管理を提供

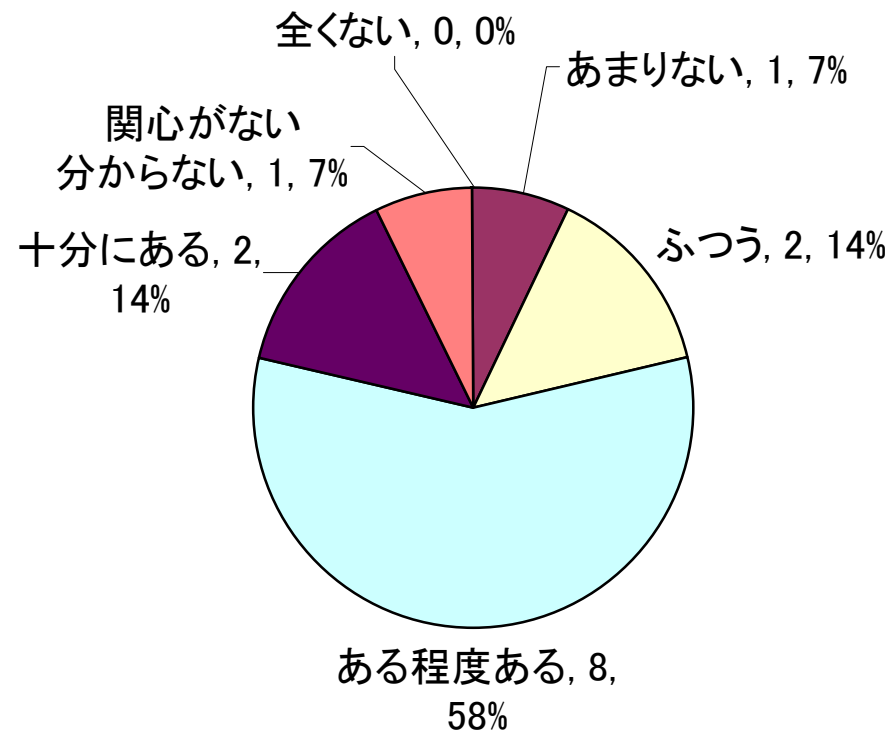


まずは学内全体での認識向上

- 学内で輸出管理の担当を設置する
- 研究者に対して、
知財や著作権、安全管理、動物実験等の講習に、
輸出管理の基本的な説明会も実施する
- 学生へ、科学者倫理の教育において、
輸出管理を含めて実施する

輸出管理は負担になるのか？

貿易管理に時間を費やすことは、
研究活動に対して障害になると思われませんか？



アンケートから、研究活動の生産性を低下させない管理手法が求められる

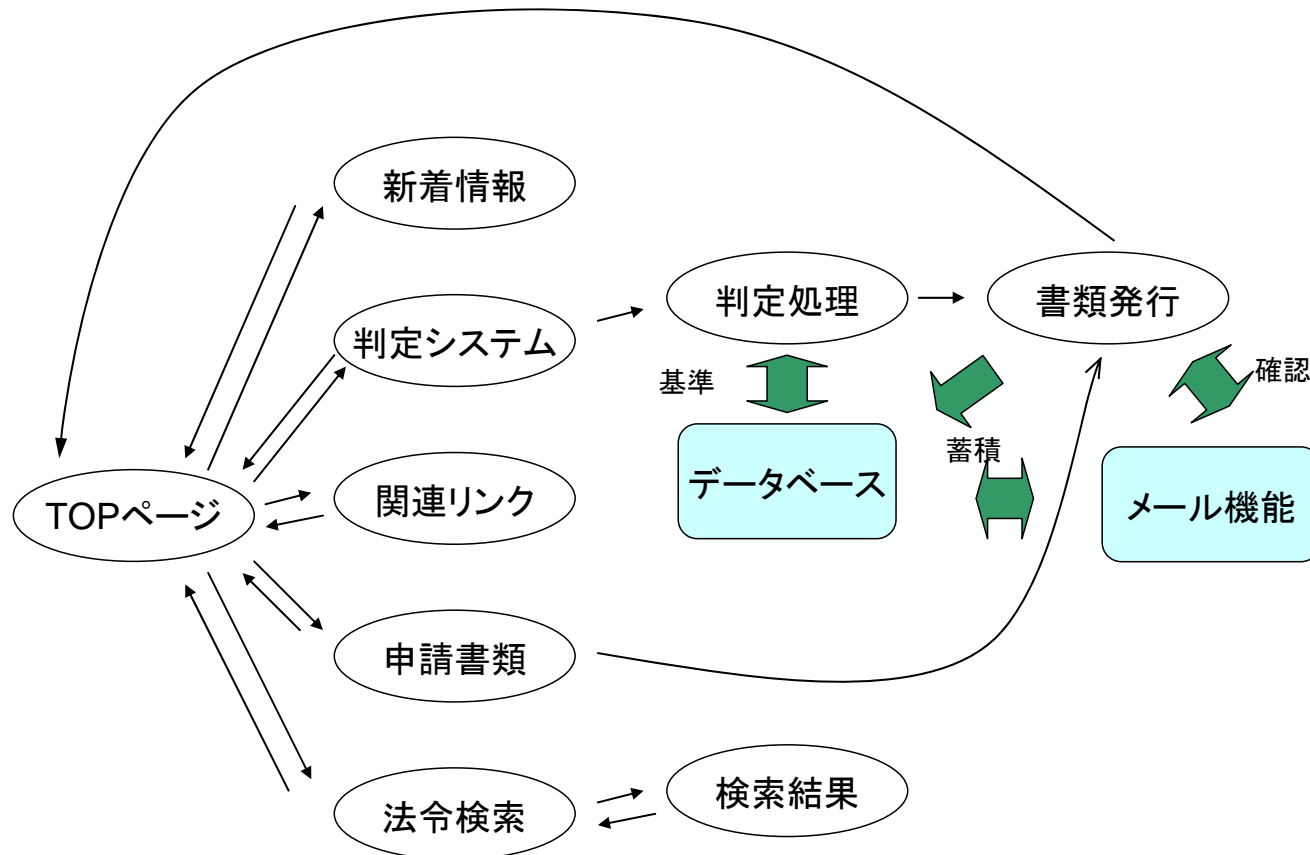


輸出管理情報システム

- 研究者へ負担をかけないことをコンセプト
 - ・Webを用いた輸出管理の情報提供
 - ・データベース、スクリーニングを提供

中央大学の鈴木寿先生の「ツールX」
スタンフォード大学のExport Control
を参考にしたシステムを基本とし、
法令改正による、懸念国やリストの変更にも対応できる
データベースとメール通達による輸出管理システム

輸出管理情報システム



	要求定義書
システム名称	輸出管理サポートシステム
システムの目的	学内における輸出管理のサポート
システムの機能	輸出管理判定システム SSLサポート データベース蓄積機能 自動メール送信機能 類似申請事例の検索
システムの構成	汎用WEBサーバー ApachなどのHTTPによるWEBサービス Perl言語によるスクリプト SSL証明書取得

輸出管理情報システムの概要

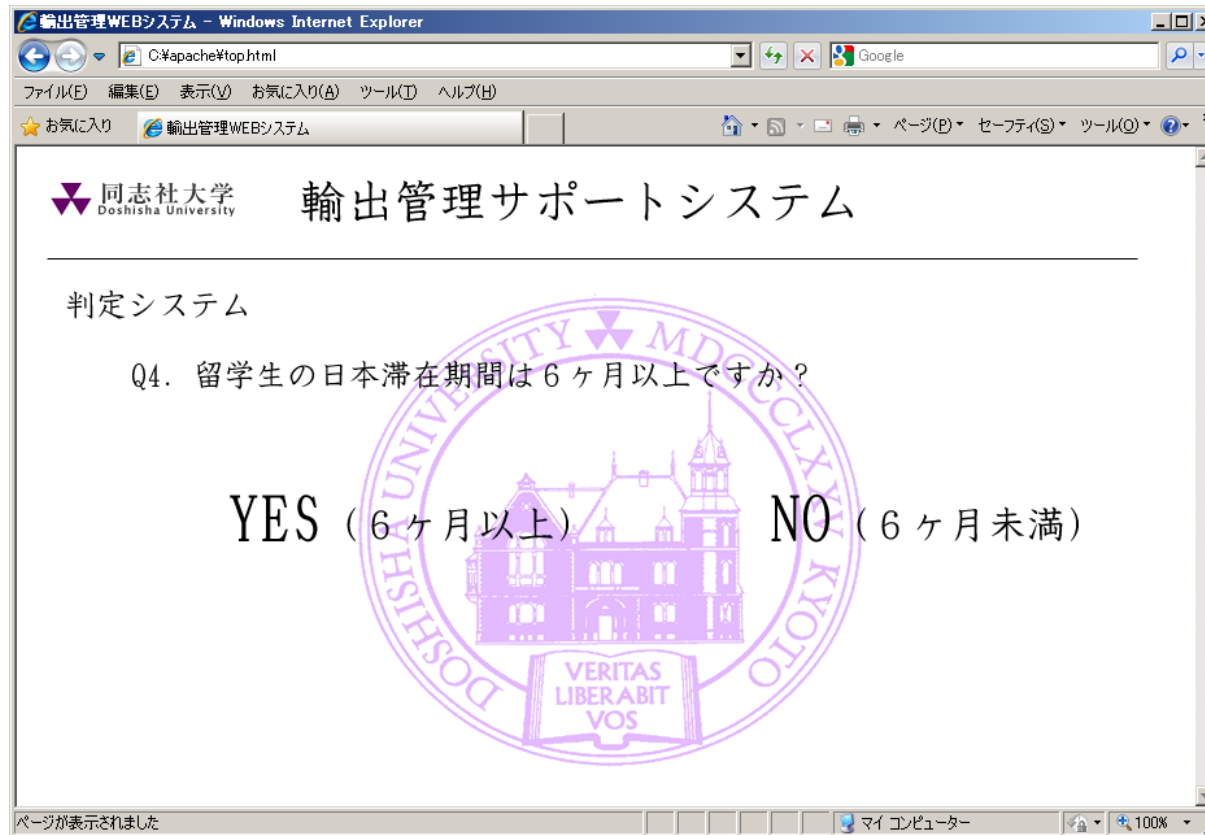


The screenshot shows a web browser window titled "輸出管理WEBシステム - Windows Internet Explorer". The address bar shows "C:\apache\top.html". The page content includes the Doshisha University logo and the title "輸出管理サポートシステム". A sidebar on the left lists: 新着情報, 輸出管理判定システム, 法令検索, 申請書類, and 関連リンク. The main content area features a "TOPICS" section with a purple circular seal of Doshisha University in the background. The text in the TOPICS section reads: "新年度に留学生を受け入れる予定のある場合 → Click", "2009年11月より改正外為法が施行されています。詳細は新着情報をご覧ください → Click", "CISTECによる輸出管理セミナーを実施予定です。", and "外国ユーザーリストを更新しています。(2009年9月)". The status bar at the bottom indicates "ページが表示されました" and "マイコンピュータ" with a 100% zoom level.

学内、イントラネットからの
アクセスが可能

輸出管理のポータルサイト
法令や申請が可能となる

輸出管理情報システムの概要



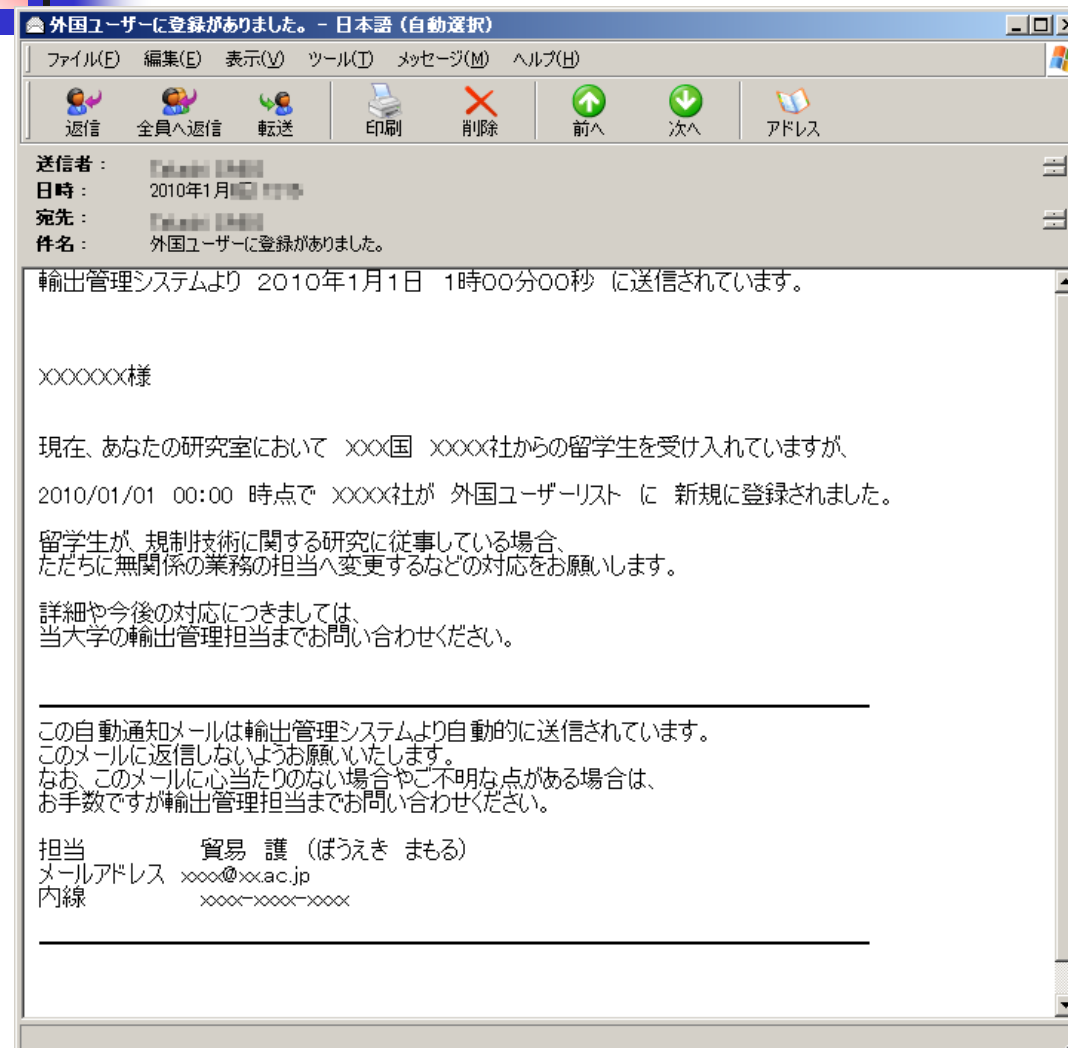
輸出管理の簡易的な判定が可能

判定できない難しいケースは、担当者への個別相談となる

キャッチオール規制など、技術の転用などの判定も担当者相談となる。

中央大学 鈴木先生の「ツールX」を参考に作成

輸出管理情報システムの概要

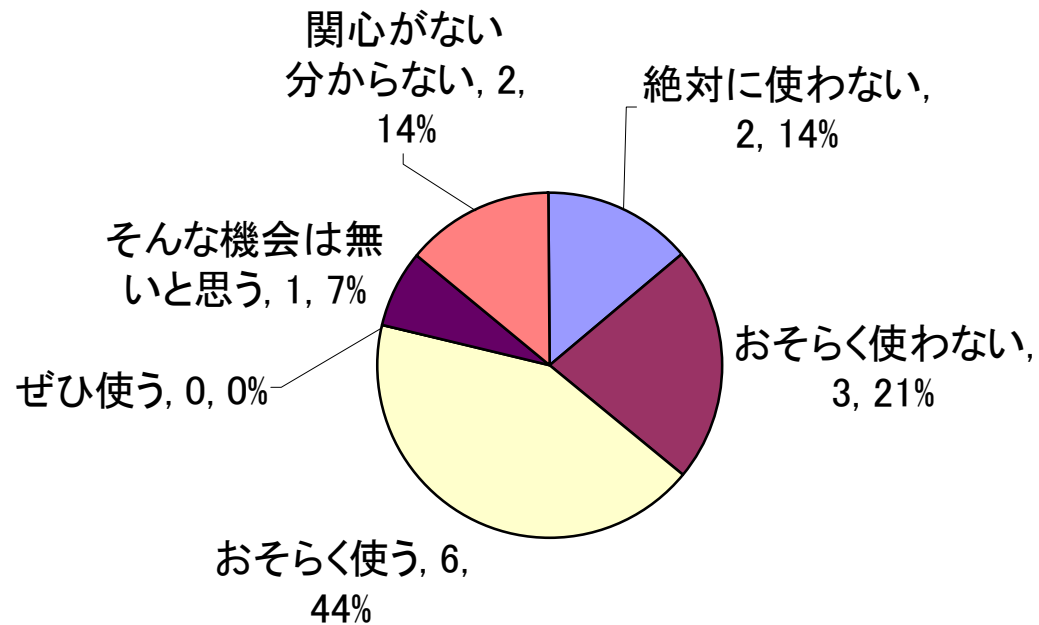


リスト規制のリスト改定や懸念国、懸念企業が追加されるなど、関係法令が変更された場合、

担当者が条件を変更すると注意勧告メールを自動配信

支援ツールの可能性は？

輸出管理をIT技術で容易に確認できる業務支援ツールができれば、活用されたいですか？



アンケートから、輸出管理システムの有効性が推測できる



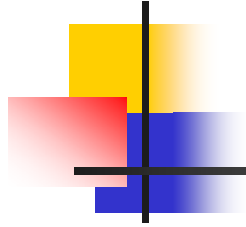
今後の検討課題

- わかりやすいインターフェースの開発
 - 輸出管理に馴染んでもらう
- セキュリティーの確保
 - 情報を狙う敵にとっては宝の地図である
- キャッチオール規制と研究データベースの対応
 - たとえば、化粧品が化学兵器になるなど、転用の可能性検討など、想像力に依存する部分はプログラムでは難しい



まとめ

- 輸出管理を導入する場合の状況把握として、同志社大学でアンケート調査を実施した
- 輸出管理への認識が低い傾向が見られた
- この状況下での輸出管理導入に向けた、
 - ・認知度を向上させる活動の提案
 - ・効率的に支援する情報システムの提案



ありがとうございました。